

2022年5月25日

各 位

会社名 株式会社スマレジ
代表者名 代表取締役 山本 博士
(コード番号：4431 東証グロース)
問合わせ先 取締役 副社長 湊 隆太郎
TEL. 06-7777-2405

決済サービス「PAYGATE」とクラウドPOSレジ「スマレジ」の 連携開始に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、以下のとおり決済サービスを強化していくことを決議いたしましたのでお知らせいたします。

1. 本件の趣旨

当社は、刻々と変化する現場のニーズに柔軟に対応したサービス展開を行えるように、2021年12月22日に決済会社である株式会社ロイヤルゲート（以下、「ロイヤルゲート」という。）を子会社化し、自前の決済システムを保有することとしました。導入店舗と消費者の双方にとって便利でシームレスなキャッシュレス決済を実現するため事業統合を実行してまいりましたが、この度、ロイヤルゲートが提供するマルチ決済サービス「PAYGATE」とスマレジの連携が完了し、2度打ちの手間なく両サービスがご利用いただけるようになりました。この連携を機に「PAYGATE」の販売を本格的に開始いたします。



持ち運びできるから
場所を選ばず決済対応

1台で全ての
キャッシュレス決済対応

初期費用
端末代金 0円
キャンペーン中

スマレジと PAYGATE 連携開始

2022年5月23日(月)より連携開始!

2. 新たな事業の概要

(1) 新たな事業の内容

当社は、「いい未来をつくる」という企業理念のもと、中小事業者の ICT 利活用およびキャッシュレス化の促進をミッションに掲げて活動をしております。今回連携を開始する決済サービス「PAYGATE」は、クレジットカード・電子マネー・QR 決済の主要ブランドに対応し、Android 搭載、Wi-Fi・4G 対応、プリンター内蔵のマルチ決済端末です。店内はもちろん店外での会計も可能とし、お客様のさまざまなニーズに応えられます。決済端末が一つにまとまるため、店舗のオペレーション改善につながります。

これまでは代理店として決済サービスに携わってまいりましたが、「PAYGATE」の販売を皮切りに、本格的に事業を強化してまいります。また、「PAYGATE」の販売開始による決済サービスの強化に関する内容は、添付資料「決済サービスの強化について」をご参照ください。

(2) 本事業の開始のために特別に支出する金額および内容

システム連携に関する費用については人件費や外部委託費の発生が見込まれますが、当期以降の業績に与える影響は軽微だと判断しております。今後公表すべき事項が生じた場合には、速やかにお知らせいたします。

なお、決済会社であるロイヤルゲートの子会社株式取得に関する費用については、2022年3月16日に開示した「2022年4月期第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」の企業結合等関係の注記に記載のとおりです。

被取得企業の取得原価 1,720 千円

アドバイザーに対する報酬・手数料等 167 千円

3. 今後の見通し

本件における 2022 年 4 月期の業績への影響はございません。

中期経営計画最終年度（2024 年 4 月期）に決済サービスの ARR10 億円突破を目指しております。2022 年 6 月に 2022 年 4 月期決算発表と合わせ、業績への影響および今後の展開に関する計画をお知らせする予定としております。

(ご参考) 「PAYGATE」の詳細につきましては、当社 WEB ページをご覧ください。

<https://smaregi.jp/payment/>

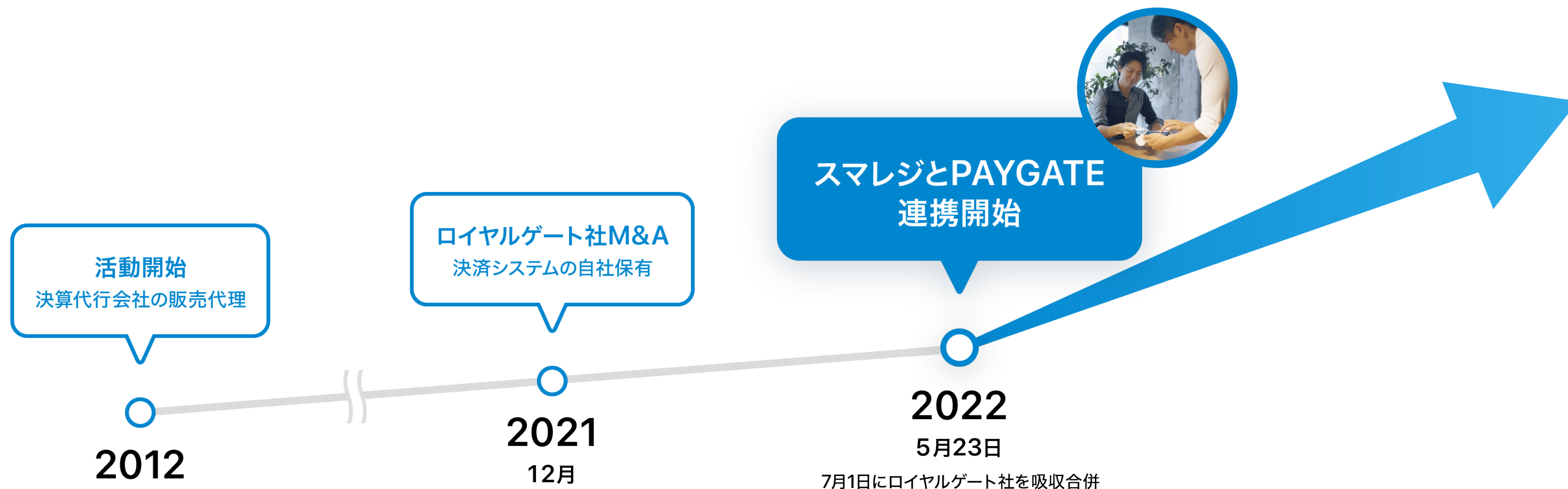
スマレジ

決済サービスの強化について

株式会社スマレジ 証券コード: 4431

スマレジとPAYGATEが連携開始

2022年5月23日、ロイヤルゲート社が提供する決済サービス「PAYGATE※」とスマレジの連携を開始しました。スマレジは、クレジットカード決済はもちろん、電子マネーや次世代の決済に対応したキャッシュレス決済サービスを本格的に強化してゆきます。



※PAYGATEは、2021年12月に子会社化した株式会社ロイヤルゲートが開発する、シンククライアント型マルチ決済端末、iOS・Android・Windows APPに対応したアプリケーション、クラウド型の決済処理センターからなる「キャッシュレス決済プラットフォーム」です。正式名称は「スマレジ・PAYGATE」ですが、本資料では、省略してPAYGATEと表記します。

PAYGATEについて

PAYGATEは、クレジットカード・電子マネー・QR決済などのあらゆるキャッシュレス決済を端末一台で処理できる次世代の決済サービスです。



販売戦略と計画

価格体系を全面的に見直し、

収益構造を端末売上から月額利用料等のストック売上へシフトしてARR増大に貢献

クロスセル	スマレジ新規案件への決済セットプラン提案
アップセル	スマレジ既存ユーザーの一部への決済アップグレード提案
大規模案件	ロイヤルゲート社が行ってきた提案営業



中期計画最終年度（2024年4月期）に

**決済サービスARR
10億円突破**

FY2022

決済サービスの強化について

2022.05.25

株式会社スマレジ